

令和 6 年度 中野区放課後デイサービスセンターみずいろ事業報告

特定非営利活動法人わかみやクラブ
理事長 青柳 通
中野区放課後デイサービスセンターみずいろ
〒165-0021 東京都中野区丸山 1-17-2
管理者 橘 英樹

1、基本姿勢

「心に寄り添い、子どもたちがあがまの自分でいられる居場所作り」

2、年間総括

① 利用率について

平日 84.1%、土曜日 70.8%と例年通りの水準で受け入れを行うことが出来た。例年と変わらず土曜日、長期休暇中の利用については、7割程度の利用に留まっている。令和 6 年度より土曜日の余暇活動の充実を図ることができるよう、トランポランドやプラネタリウムなどのイベントを実施。地域の活動団体との合同行事も実施し、外部とのつながりを作った。また、個別サポート加算が算定されている児童の受け入れについて強化し、全体の 37%が個別サポート加算を算定する児童であった。今後も、多くの重度の障害を有する子どもや、緊急性の高い子どもの受け入れを積極的行うことが責務であると考えている。

② 人員体制について

令和 6 年度より、児童発達支援管理責任者を 2 名配置することで、より具体的なアセスメントを取り、支援計画を立案することで、直接支援へつなげることができた。強度行動障害支援者養成研修を 1 名、児童発達支援管理責任者研修(基礎)を 1 名受講。専門職員の配置については、採用につながらず次年度への課題となっている。

③ 収入

感染症など、年間を通して留意が必要な状況は継続していたが、利用率は、安定した受け入れを継続することが出来た。また、人員体制についても、加算等大きく崩れることなく算定できた。また、個別支援加算を算定している子どもの受け入れについても積極的に行い、当初予定の給付費受給 105%達成をすることができている。また、少しずつではあるが、令和 6 年度報酬改定で新しい加算となった「自力通所支援加算」の算定も始め、支援の質と収入の安定の両軸を伸ばすことができた。

3、事業方針の評価

① 子どもたちのステージにあわせた支援の形成

今年度より、児童発達支援管理責任者を2名体制にした。発達や課題、障がいに合わせてグループ分けを行い、アセスメントから支援の立案、実施から評価までを一連の流れの中で適切に行うことを念頭に置き、児童発達支援管理責任者、ケース担当を中心にケース検討を深めていくことができた。令和6年度報酬改定で大きく変化した支援の在り方に対応できるよう、管理者、児発管を中心に検討を深め実施した。特に自力通所支援では、放課後に歩きや自転車を使用しての来所や、マイクロバスの降車ポイントから自宅まで歩いて帰る練習をするなど、子どもたちの能力や将来の就学等に合わせた支援を実施することができた。

② 保護者支援

令和6年度も継続して、保護者会を実施した。保護者会の日程が学校行事と重なってしまい参加できない保護者が多くいらしたため、来年度はハイブリットでの参加やオンデマンド参加ができるような配慮を行っていく必要がある。また、ペアレントメンター事業と共同でペアレントプログラムを実施。今年度は7名の参加となった。参加された保護者からの評価は高く今後も定期的なフォローアップを期待することも聞かれている。現在は未就学児から小学生までの子どもを持つ保護者向けとなっているが、今後思春期などの悩みを抱える保護者向けの支援の方法なども考慮しながら多くの保護者の困りごとへ支援できるよう努める。

ペアレントメンター事業では、令和6年度はメンターが主体的に活動できるように、メンター会議で運営にかかわる内容を検討し、活動方法を整理することや、他の区を参考に、個別相談を定例にしメンター当番を決め事務所に来所してもらうなどの体制づくりを行ってきた。グループ相談もメンターの中でファシリテーターを意識的にする人を決め、ふりかえり記録を残すことをする方法に転換してきた。その結果、メンターの自主的に運営する姿がみられるようになってきている。

③ 職員のコンプライアンス強化・支援体制の確立

令和6年度より児童発達支援管理責任者を2名配置とし、アセスメントから支援計画の立案、支援の実施と評価の在り方を見直し、より深くケースを検討できるよう努めた。令和6年度報酬改定に合わせ、本人、家族、移行などそれぞれの支援について具体的な方針を作成し打ち出した。また、5領域のねらいに合わせた活動プログラムを考案し、日替わりで集団活動に取り入れて実施した。今年度は、実地指導も実施された。文書指導は数か所あったものの、改善に向け修正を行った。継続してコンプライアンスを遵守できるよう努めている。

④ 地域、福祉、教育との連携の強化

中野特別支援学校、練馬特別支援学校との連携会議の実施、相談支援事業所や中野区児童相談所を交え、担当者会議を実施するなど子どもを包括的に支援できるよう連携を強化した。地域連携では、地域の高齢者団体である「野方ことぶき会」との共同イベントの開催や、中野区子ども発達センターたんぽぽやキッズプラザとの合同イベント、早稲田大学のボランティアサークルに来所いただき実施したイベントなど、多くの地域団体や福祉施設に助けをもらいながら運営を行うことができた。

⑤ 日中一時保護「なないろパラソル」利用の拡充

令和4年度以前より課題となっていた、日中一時利用について、令和5年度(22日138時間利用)から、令和6年度(42日269時間)とほぼ倍増することができた。家族の疾病による緊急的な

受け入れや、支給量以上の利用を余儀なくされている子どもの受け入れなど緊急的な受け入れを積極的に行った。広報活動を積極的に実施し、多くの方に利用してもらうことができるよう継続して実施する。

⑥ 利用率の向上と地域移行の支援

令和 6 年度は、昨年度と比較しほぼ横ばいの利用率となった。令和 6 年 4 月には、9 名（うち 8 名は新一年生）の新規児童を受け入れ、多くの利用希望に対応した。反面で、次の居場所に移行する支援には繋げることができず、学童保育での受け入れが終了した中学生の利用希望が多く、変わらず小学校卒業後の居場所に困るケースが多く見られていると推測される。今後も学校以外の居場所としての位置づけを意識しながら、地域で過ごすことができるよう、本人を取り巻くすべての大人と将来を考えることができるよう連携を深めていく。

4、職員配置

職種	常勤人数	非常勤人数	小計	備考
管理者	1		1	児童指導員兼務
児童発達支援管理責任者	2		2	
児童指導員・保育士	7	3	10	
指導員	2	1	3	
嘱託医		1	1	
合計	10	6	16	

5、事業概要

(1) 放課後デイサービスセンターみずいろ

事業内容	学校教育法第一条に規定する学校（幼稚園及び大学を除く）に就学している障害児や発達に課題のある児童について、授業終了後または休業日に生活力向上のために必要な支援、社会との交流促進、その他の便宜を供与する。	
営業日	月曜日～土曜日 (祝日、年末年始 12 月 29 日～1 月 3 日を除く)	
	平日	学校休業日・長期休暇
営業時間	13:30～18:00	9:00～18:00
サービス提供時間	14:00～18:00	9:00～18:00
定員	28 名	
対象	中野区在住で中野区が支給決定した放課後等デイサービスに通所する受給者証所持の就学児	
利用料金	厚生労働省の定める料金 おやつ代 80 円／回 調理・外出等は実費	

(2) 中野区一時保護事業 なないろパラソル

事業内容	障害や発達に課題のあるお子さんの保護者が、疾病等により介護すること
------	-----------------------------------

	が困難な場合や冠婚葬祭等の際に、お子さんを日中一時的に施設内でお預かりする。
対象者	中野区在住の障がいや発達に課題のある小学生から高校生までの子ども
利用定員	2名／日
利用可能日時	月曜日から土曜日（祝日、年末年始 12月29日～1月3日を除く） 9:00～18:00
利用上限回数	5回／月
利用料金	無料 ※但し、おやつ等費用は実費負担

6、利用率・加算算定延べ数

【利用率】

(%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
放課後	85	92	90	86		85	82	87	84	75	87	80
休業日	79	55	64	79	77	72	60	61	74	84	67	78

	利用延べ数(293日)	平均
放課後	4805名	84.1%
学校休業日	1910名	70.8%

【送迎バス利用率】

迎え	5,593人
送り	5,730人

【個別サポート加算対象児・算定件数】

男性	14人	女性	4人
延べ件数	2485名		

【各加算算定件数】

加算内容	年間延べ件数
家族支援加算Ⅰ 事業において対面等での面談	107件
家庭連携加算Ⅰ 居宅を訪問して面談	3件
関係機関連携加算 学校、他機関との連携	8件

7、令和6年度登録利用者

【登録者数】登録者数63人

令和6年度	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
男子	5	4	4	6	9	1	5	5	1	6	1		47
女子	2	1	1		2	2	2			1	5		16

【学校分布】

中野特別 支援学校	練馬特別 支援学校	明和中学	令和小	美鳩小	西中野小	江原小	青光学園	永福	東久留米	第七中
33	8	5	3	7	2	1	1	1	1	1

8、令和 6 年度親支援活動実績

	実施日	内容	実施場所	参加者	対象者
企画講座	10月9日	就労支援の流れと仕組み	中野 ZERO	12 人	保護者と関係機関 職員
	12月1日	障害のある子と家族の形	中野 ZERO	23 人	
ミニ講座	5月17日	就学後の支援	中野 ZERO	12 人	障害を持つ子の保 護者
	5月24日	就労の賃金と暮らし	楽～CAN	4 人	
	6月2日	楽器に触れて・・	区民活動センター	16 人	
	9月20日	タッチケア	産業振興センター	5 人	
	3月16日	発達検査と知能検査	区民活動センター	14 人	
グループ相談会	月3日曜日	南地域 32 回	楽～CAN 他	延べ 105 人	//
	第 3 金曜日	北地域 6 回	野方 WIZ	延べ 45 人	
個別相談	随時	法人事務所	法人事務所	21 件	//
養成研修	3月4回	ヒアリング・傾聴・区の支援	中野 ZERO	延べ 27 人	// + メンター
P・プログラム	1月～3月	全 6 回 連続講座	法人事務所	延べ 36 人	募集
公開講座	8月24日	上映 フォーレトな人々 当事者談	中野 ZERO	61 人	区民と関係機関 職員